

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月1日(金) 四回戦

Mコート 第2試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
延岡学園	103	$\left\{ \begin{array}{l} 21 - 12 \\ 25 - 21 \\ 33 - 20 \\ 24 - 14 \end{array} \right\}$	67	岡山学芸館
宮崎				岡山

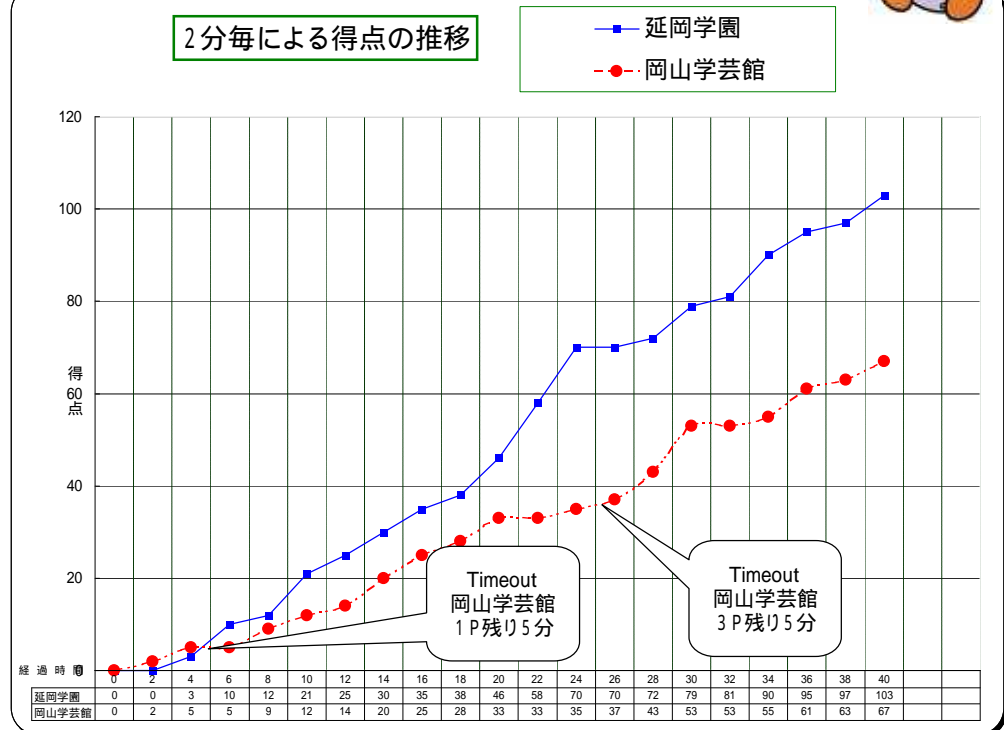
延岡学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	内村 祥也	X	10	0	1	5	10	0	0	3	1	1	0	4	6	0	27
5	シダット ジャーラ	X	25	1	1	9	17	4	6	1	2	14	1	0	1	3	35
6	和田 力也	X	8	0	2	3	8	2	3	3	0	3	0	2	9	1	29
7	永吉 佑也	X	26	0	0	11	17	4	5	1	4	7	0	0	2	0	32
8	川元 崇史	X	20	6	14	1	3	0	0	1	3	4	0	0	2	1	31
9	横瀬 孝樹	/	7	1	2	1	4	2	2	2	1	2	3	4	2	0	17
10	曽根田 夏樹	/	2	0	2	1	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	8
11	湯地 寛地	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	大坪 将太	/	1	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5
13	長谷場 祐二	/	4	0	0	2	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	8
14	中村 友哉	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
15	エリマン ブイ	/	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	1	0	5
コーチ	北郷 純一郎	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	11	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			103	8	22	33	67	13	18	14	15	44	7	11	25	6	200
確率			36.4%	49.3%	72.2%	計 59											

岡山学芸館

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	万代 卓実	X	5	1	2	1	7	0	0	0	0	3	2	1	2	0	30
5	松本 芳裕	/	7	1	5	2	5	0	0	2	2	1	0	1	2	0	21
6	大橋 順	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	伊藤 実希	X	24	4	8	5	10	2	4	0	0	1	4	1	3	0	40
8	藤原 一仁	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9	岩田 直也	X	3	1	6	0	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0	21
10	橋本 一馬	X	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1	0	7
11	松本 博行	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	勝又 健人	/	5	0	0	2	7	1	3	1	0	1	2	0	1	0	14
13	難波 勇介	/	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
14	延原 慎	/	13	0	0	6	8	1	2	4	1	2	0	1	0	1	27
15	トゥーレイ アビブ	X	10	0	0	4	15	2	4	4	2	10	4	1	1	13	35
コーチ	島田 篤	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	11	1	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			67	7	22	20	54	6	13	17	7	34	15	6	11	14	200
確率			31.8%	37.0%	46.2%	計 41											

2分毎による得点の推移



戦評

インサイドの#5ジャーラを中心に、昨日圧倒的勝利を収めた延岡学園と、#15アビブを擁し、ベスト4入りを目指す岡山学芸館の対戦である。
第1P両チーム共マンツーマンでスタートする。延岡学園は#5ジャーラにボールを入れ、攻撃するが、岡山学芸館#15アビブのシュートブロックで得点できない。しかし、時折見せる3-2ゾーンから、#6和田、#9横瀬がレイアップシュートを決め、リードする。
第2P延岡学園#7永吉のミスマッチで得点をする。すかさず岡山学芸館は、1-1-3ゾーンに変え、#7伊藤が3Pシュート、ドライブインで得点をする。しかし、単発なシュートが目立ち、延岡学園ペースのまま前半を終了する。
第3P岡山学芸館は、2-2-1ゾーンプレスを仕掛け、#7伊藤のシュートで、流れを変えようとする。しかし、延岡学園の激しいディフェンスと、#4内村、#7永吉のシュートがこれを許さない。
第4P岡山学芸館#15アビブが、ポストからシュートを決め、反撃の糸口を掴みたいところだが、延岡学園#8川元の3Pシュートで、リードを広げられてしまう。結局、103-67というスコアで、延岡学園がベスト4進出を決めた。

主審	川端 孝博	副審	蒲 健一	戦評	祐木 毅 (埼玉県高体連)
----	-------	----	------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット